

- 問1 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた倭（日本）が、九州北部の太宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、大野城などの山城を築いた理由として、最も適切な背景はどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、巨大な寺院を保護するため | 2. 遣唐使を安全に派遣するための巨大な港湾施設を整備するため | 3. 九州に割拠する豪族たちを武力で制圧し、中央集権化を進めるため | 4. 唐や新羅による日本本土への侵攻を警戒し、防衛体制を強化するため |
|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問2 群馬県の伊香保を詠んだ和歌などが収録されている『万葉集』の原文において、すべて漢字のみで構成されているものの、現代のひらがな表記と照らし合わせると漢字一文字が日本語の一つの音に対応するように記述されている。このような表記方法を何と呼ぶか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 候文 | 2. 国字 | 3. 万葉仮名 | 4. 漢文訓読 |
|-------|-------|---------|---------|
- 問3 奈良時代に政府の命令によって編纂された『風土記』の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 中央政府が地方の資源や文化を把握するため、各地の産物や地名の由来、伝承などを記録させた。 | 2. 仏教による鎮護国家を目指し、各地に建立された国分寺の歴史や由来をまとめた。 | 3. 天皇の位の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを編年体で記述した。 | 4. 租・庸・調などの税率を決定するため、全国の戸籍とあわせて土地の面積を詳細に記録した。 |
|---|--|--|---|
- 問4 律令制度のもとで、戸籍に基づいて6歳以上の男女に「口分田」という土地を与え、その人が亡くなると国に返還させる仕組みを何といいますか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 公地公民の制 | 3. 三世一身の法 | 4. 班田収授法 |
|------------|-----------|-----------|----------|
- 問5 東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。 | 2. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。 | 3. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。 | 4. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。 |
|--|---|---|--|
- 問6 平城京に都が置かれ、貴族や僧侶の間で政治的な勢力争いが続いていた8世紀前半の社会背景において、土地制度に関する記述として正しいものを次の中から選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 班田収授法が完全に機能しなくなったため、政府は一切の開墾を禁止して農民を都の造営に専念させた。 | 2. 開墾を奨励するために、新しく開墾した土地を一定期間に限って私有することを認める法令が出された。 | 3. 墾田永年私財法の制定により、農民が新しく開墾した土地を三代にわたって私有することが初めて認められた。 | 4. 公地公民の原則を強化するために、すでに私有されていた土地をすべて国家が強制的に回収した。 |
|--|--|---|---|
- 問7 古代の日本において、九州北部の防衛を担った「防人（さきもり）」の制度に関する説明として、その背景や実態を正しく述べたものはどれか。（2016年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 元寇（モンゴル襲来）の際、幕府の命を受けた御家人が九州の沿岸に築かれた石築地を警護した。 | 2. 律令制において、国ごとに任命された貴族が、現地の農民を率いて海岸線を警備する仕組みであった。 | 3. 白村江の戦いで敗れた後、対外的な緊張の高まりから、主に東国の農民が九州へ派遣された。 | 4. 平安時代に地方の治安が乱れたため、各地の有力な農民が自発的に組織した武装集団である。 |
|---|---|---|---|
- 問8 大化の改新から奈良時代にかけて確立された、土地と人民はすべて国家のものとする「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の人々に一律に貸し与えられた土地を何と呼びますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 位田 | 2. 墾田 | 3. 名田 | 4. 口分田 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問9 奈良時代の律令制度において、土地と民衆は国家のものであるという「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられた土地を何と呼びますか。（2024年 石川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|-------|------|
| 1. 口分田 | 2. 名田 | 3. 墾田 | 4. 佃 |
|--------|-------|-------|------|
- 問10 聖武天皇が治めた奈良時代には、伝染病の流行や反乱などの社会不安が続きました。これらを鎮めるために聖武天皇が行った政策の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 1. 厳しい法律を制定することで、貴族の権力争いを強制的に止めるため | 2. 武士に領地を与えて軍勢力を強化し、他国の侵攻に備えるため | 3. 仏教の力によって国家の平和と安定を図るため | 4. 有力な農民を役人に採用し、税の徴収を確実にするため |
|------------------------------------|---------------------------------|--------------------------|------------------------------|
- 問11 班田収授法によって人々に分け与えられた「区分田」という土地に関して、その仕組みと税負担の関係を説明したものとして正しいものはどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 開墾した土地を永久に私有することを認める代わりに、高い税が課された。 | 2. 地方の特産品を都まで運んで納める「調」という税が課された。 | 3. 都で働く労役の代わりに、布を納める「庸」という税が課された。 | 4. 土地の面積に応じて、収穫した稲の一部を納める「租」という税が課された。 |
|---------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|--|
- 問12 8世紀の奈良時代に完成した『日本書紀』は、日本の国家形成において重要な役割を果たしました。この書物が編纂された主な目的として最も適切なものはどれですか。（2018年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天皇を中心とする朝廷が日本を統治する正当性や、国家の成り立ちを対内外に示すため | 2. 江戸時代に海外から入ってきた医学の知識を翻訳し、人体の構造を明らかにするため | 3. 平安時代に栄えた貴族社会の恋愛模様や、かな文字による文学的表現を後世に伝えるため | 4. 鎌倉時代に武士が台頭する中で、和歌の伝統を守るために優れた歌を収集・整理するため |
|--|---|---|---|
- 問13 奈良時代の文化の特色について述べた文として、国際色豊かな文化が形成された背景を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 遣唐使が派遣されたことで、唐の都である長安に集まっていた西アジアなどの文化が日本に持ち込まれたため。 | 2. 後醍醐天皇が新しい政治を始めるにあたり、それまで交流がなかったペルシャ地方の文化を積極的に取り入れたため。 | 3. 律令制度の確立により、西アジアの諸国と直接の外交ルートが開かれ、大規模な貿易が行われたため。 | 4. 聖武天皇が高句麗から招いた僧侶たちが、西アジアの最新の建築技術や工芸品を日本に直接伝えたため。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 唐や新羅による日本本土への侵攻を警戒し、 防衛体制を強化するため	白村江の戦いでの敗北後、大和政権は大陸からの報復的な侵攻を受けることを強く恐れました。そのため、外交の拠点であった太宰府の周囲に、防波堤のような役割を持つ水城や、逃げ込み用の山城を急いで築くことで、国土防衛を固めようとした歴史的背景があります。これは当時の東アジアの緊張感を示す重要な動きです。
問2	答え 3 万葉仮名	当時の人々は、自分たちの言葉である日本語を書き残す際、外来の文字である漢字を「音（オン）」や「訓（クン）」として利用しました。例えば「いかほ」という地名を「伊香保」と書くように、漢字本来の意味を無視して日本語の音を写し取ったもので、これが後の平仮名や片仮名の原型となりました。
問3	答え 1 中央政府が地方の資源や文化を把握するため、各地の産物や地名の由来、伝承などを記録させた。	律令国家としての体制を整える過程で、政府が地方の自然環境、経済資源、そして地元の伝統文化を正確に把握するために作成を命じた地理書です。単なる事務的な報告にとどまらず、その土地に伝わる伝説なども含まれている点が大きな特徴です。
問4	答え 4 班田収授法	唐の均田制を参考に導入された制度で、すべての土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則に基づいています。与えられた口分田の面積に応じて、収穫の約3%を納める「租」などの税が課されました。人々を戸籍に登録し、土地を割り当てることで、国家が直接人民を支配し、安定した税収を得ることが目的でした。
問5	答え 3 シルクロードを經由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問6	答え 2 開墾を奨励するために、新しく開墾した土地を一定期間に限って私有することを認める法令が出された。	当時の記録によれば、政府は三世一身の法を制定し、新しく開墾した者に対して三代（本人・子・孫）または一代の私有を認め、開墾への意欲を高めようしました。これは、公地公民の原則（すべての土地は国家のもの）を維持しながらも、現実的な食糧不足に対処しようとした妥協案としての側面を持っています。
問7	答え 3 白村江の戦いで敗れた後、対外的な緊張の高まりから、主に東国の農民が九州へ派遣された。	663年の白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅が日本へ侵攻してくることを恐れた政府は、九州北部に防人を配置しました。当初は全国から集められましたが、後に東国の農民に限定されるようになります。これは、東国が古くから兵を出す地域として重視されていた背景がありますが、農民にとっては旅費も自己負担であり、生活を困窮させる大きな要因となりました。なお、選択肢にある「幕府の命を受けた御家人」は鎌倉時代の「異国警固番役」を指します。
問8	答え 4 口分田	律令制度のもとでは、政府が国民を管理するために戸籍を作成し、それに基づいて「班田収授法」という仕組みを運用しました。このとき、人々に分け与えられた土地が口分田です。口分田を与えられた人々は、その対価として収穫の約3%を「租」として納める義務を負い、本人が死亡した際には土地を国に返還することが定められていました。
問9	答え 1 口分田	律令制度のもとでは、全ての土地と人民を天皇が支配するという公地公民の原則がとられていました。これに基づき、班田収授法によって戸籍に登録された人々に一定の土地が割り当てられ、収穫の約3%を「租」として納める義務が課されました。この土地は本人の死後に国へ返還することとされていました。
問10	答え 3 仏教の力によって国家の平和と安定を図るため	聖武天皇は「鎮護国家」の思想に基づき、仏教の力で災いを除こうと考えました。この目的のために、全国に国分寺や国分尼寺を建立し、東大寺には大仏を造立しました。
問11	答え 4 土地の面積に応じて、収穫した稲の一部を納める「租」という税が課された。	班田収授法で貸し与えられた区分田には、面積に応じた税負担が設定されていました。これが「租」であり、収穫した稲の約3%を納める義務がありました。一方で「庸」や「調」は、土地ではなく、成人男性などの「人」に対して課された税であり、区分田の有無とは別の基準で徴収されていました。
問12	答え 1 天皇を中心とする朝廷が日本を統治する正当性や、国家の成り立ちを対内外に示すため	奈良時代は律令国家としての体制が整えられた時期であり、一国家としての歴史を公式に記録する必要がありました。『日本書紀』は、神話の時代から続く天皇の系譜を整理することで、朝廷による統治の由来を明確にし、日本の国としての成り立ちを国内外に示すことを意図して編纂されました。
問13	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、唐の都である長安に集まっていた西アジアなどの文化が日本に持ち込まれたため。	当時の唐は国際的な帝国であり、都の長安には西アジア（ペルシャ）などの文化が流入していました。遣唐使や留学生、僧侶たちが、仏教の経典とともにこれらの国際色豊かな文化を日本に持ち帰り、聖武天皇を中心とする天平文化に大きな影響を与えました。